

新たなステージへの序章－学習者自律と個別最適化学習－

コロナ禍は社会全体に暗い影を落としています。人類はこれまで英知を結集して難局を乗り越え、豊かな文明を築き上げてきました。生徒諸君には、この危難を契機に、これまで学んだ知識を総動員して、新しい学びや生き方を見出してほしいのです。「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策」（文部科学省）を読むと学校の「あるべき姿」が見えてきます。「教師の視点」ではリアルタイムでの情報共有。授業前は、学習状況や到達度をデータで確認してから教室に向かう。授業では、ディスカッ

ションして発表する機会を与え、発話量で状況を把握、個別指導に活かす。授業が終われば、集積されたデータから課題を抽出、個別最適化教材による授業案を組み立てる。「子供の視点」では、欠席しても授業動画と課題等が送られ、P.Cを開くと学習記録から復習すべき問題がリストアップされる。「保護者の視点」では連絡事項や学校での状況、場合によっては教師が音声入力で確認してから教室に向かう。授業では、データ等をリアルタイム

で確認することができるなど。めざす方向性は、先端技術を現状に合わせることによって、選択肢を多様化し、「学び合い」を通じて、「未来型リーダーシップの女性育成」を目標に掲げています。

神戸山手女子中学校高等学校 校長 平井正朗 様

り出すことです。その中で、建学の精神である「自由・個別指導」に沿って、人間がAIと共に存していく社会で必要な能力を育むことを目標に掲げます。

そこで、ICT教育、音楽教育、中高大の連携教育、クラブ活動等を進化させて参ります。

若い頃の能力差は紙一重。努力を積み重ねていくと最適解を引き出す真の実力となり、やがて大きな舞台へつながります。今はその準備期間と考えて、「学ぶこと」に興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自分の学習活動を振り返って次につなげる。これはOECDの社会情動的スキルと新学



神戸山手女子中学校高等学校
校長 平井 正朗

化学習（アダプティブ・ラーニング）を推奨する経済産業省のコンセプトとも一致します。「情操陶冶」とは感受性を育み、心を豊かにし、道徳的心情や価値観を養いつつ、「人」を育て上げること。これは「OECDBの自律」を確立してほしいと思います。

習指導要領における「三つの柱」に相当します。本校では、予測不可能な未来社会で女性として豊かで幸せな人生が送れる、そのような学力と能力を培うために、より一層、探究教育、英語教育、ICT教育、音楽教育、中高大の連携教育、クラブ活動等を進化させて参ります。